



# 学校だより



小川小学校 ○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子

令和2年9月4日 No.18

## 《お子様の成長で悩んでいたらご相談ください》

「どうしてもできないのだろう」「どうしてもうまくいかないのだろう」

子供も大人も、時にはこのように思い悩むことがあるかもしれません。「一人一人個性があり、成長の仕方や学び方が違うものだよ」「誰でも失敗や苦手なことがあるよ」と、わかってはいても、目の前で起こっていることに対して困り感や不安でいっぱいになることがあると思います。そんなとき、寄り添って一緒に考えてくれる人がいたら、どんなに心強いことでしょうか。

学校は、子供たちや保護者の皆様一人一人の願い、思い、悩みに寄り添いながら、家庭、地域とが力を合わせて子供たちの成長を応援していけるようにと考えております。

## 《特別支援教育の重要性》

子供たちは、性格、興味関心、得意なことや苦手なこと、学び方、感じ方、成長の仕方など、一人一人が違ったものをもっています。世界に一つだけの大切な個性です。

ところが、その個性も大人になるまでの長い成長の過程で、いろいろな人や集団との関わりでうまくいかなかったり、学習や生活などで悩んだりすることがあります。これは誰にでもあり得ることです。

「今は大丈夫」と思っている、思春期でつまづくケースもあります。今はとても困っていても、やがて落ち着くケースもあります。どのように成長するか、どのようなことにつまづくかは、複雑で予測が難しいものです。

子供自身が困難を自分で乗り越えたり解決できたりすることがありますが、困り感が長く続いたり、対応が難しくなったりして、自信や意欲を著しく失ってしまうことがあります。

すると、その後の成長に大きく影響を及ぼしてしまうことがあります。周囲の大人たちが、ちょっとサポートを工夫したり、困りごとや悩みに寄り添ったりするだけでも、子供はやる気が高まったり、思わぬ成長を見せたりします。

子供は成長しようとするエネルギーを内に秘めています。子供が可能性や能力個性を大いに発揮し、自信や意欲を高めて生活や学習ができるように、家庭、地域、学校とで連携してサポートしていくことが大切です。

また、苦手なことがあったり、悩んだりしている友達に対して、周囲の子供たちはそれをどのように感じ、どのように関わっていくか。これも大切な特別支援教育の役割です。

**「特別支援教育は、うちには関係ないかも…」ではなく、成長の過程にある全ての子供たちにとって必要なことです。**

## ＜小川小学校内の相談窓口（相談体制）＞

学習、生活、友達関係、情緒面など、気になることがありましたら次の先生にご相談ください。

- ・各学級担任 ・養護教諭 ・特別支援教育コーディネーター
- ・ことばの教室担任 ・特別支援教室「ひばり学級」担任
- ・スクールカウンセラー

いずれでも相談の窓口になります。秘密は厳守します。情報は校内で連携をとり、チームでお子さんの成長のために具体的な対応に取り組みます。

## ＜小川小学校の「ことばの教室」と「通級指導教室」の紹介＞

児童棟 1 階東側に「ことば・きこえの教室」があります。この教室は、小川小学校の児童だけではなく近隣町村の児童が指導を受けています。

また、本校の児童の中には、大河小学校、みどりが丘小学校の先生から通級指導を受けている児童もいます。

### ことば・きこえの教室

リラックスし安心して話したり聞いたりすることができる整った学習環境の中で、発音の練習、吃音の学習、よく聞く、相手に伝わるように話す、読む、書くなどの学習を、主に個別指導で行っています。

### 通級指導教室

集団活動への参加、友達関係、人とのコミュニケーションを中心に、学習への悩み、気持ちのことなど、自らの課題の改善や目標に向けて成功体験を積みながら、グループ学習や個別学習を組み合わせ学習しています。

### ☆お問い合わせ 電話 72-0142（小川小学校）

「ことば・きこえの教室」や「通級指導教室」担任は、校内の学級担任と日頃から連携をとり、授業観察や相談を行っています。「ことば・きこえの教室」や「通級指導教室」を利用する子供たちはもちろんのこと、利用していない子供たちに対しても成長のサポートや相談をさせていただいております。

## ＜9月1日 予告なしの避難訓練を実施しました＞

3時間目の学習をしていると「緊急地震速報」のアラートが校内に流れました。そのアラートを聞きと子供たちはすぐに机の下に隠れました。新型コロナウイルス感染症の関係で全校児童を体育館に集めず、学級での事後指導を行いました。子供たちの素早い行動に驚かされました。



【素早く机の下に隠れる児童】

